

### 瀬戸市美術館で開催 北川民次コレクション

## 全員集合!!



本校同窓生の中から書道、陶芸、彫刻、絵画、美術などといった芸術に長けている方が多く輩出されているが、今回は、現在でも長年に渡って瀬戸市民の多くの方に愛され続けている北川民次画伯(写真・第12回本科卒業)にスポットを当てた。

北川民次画伯は奥様の実家がある愛知県瀬戸市をホームタウンとし、そこで長年に渡って描き続けた作品が、現在では「瀬戸市美術館収蔵」として保存されている。その中から一七七点の作品が今回「北川民次コレクション」全員集合!と銘打って愛知県瀬戸市美術館で開催された。

(二〇二三年六月三日)七月三十日 主催・瀬戸市美術館、公益財団法人瀬戸市文化振興財団、中日新聞社) 鑑賞した作品はいくつかのテーマに分かれていて、民衆(メキシコの男女や水浴をす

る母と娘、群衆)や労働者(陶器を作る人々)、工場(瀬戸の裏町、窯場風景、煙突のある風景、窯入れ)、さらに人間瀬戸の母子像)、花、メキシコでは古代から神の使いであるとされているバッタなど多岐に渡る。

それらの作品を目の当たりにすると、感激するとともにいつまでも鮮明に記憶に残るものであった。また、海外で習得された独特の画法が採用されていて、特にメキシコで習得した技術に、中南米独特の色彩が如実に表現されていて、多くの来場者を楽しませていた。

大先輩である北川民次画伯は明治二十七年(一八九四年)静岡県榛原郡五和村(現・島田市牛尾)に生まれ、静岡商業高校進学し、江戸時代の軟文学を学んだり、女義太夫を観に



芝居小屋に向いたりしていた。静岡卒業後は早稲田大学商学部予科に進学されたが、日本での生活から一旦離れることを決意、大学を中退し、野望を海外向け渡米、ニューヨークにあるアート・スチューデント・リーグに通いそこで絵画の基礎を7年間に渡って学んだ。

その後、油彩や版画にも力をいれ、画家、版画家としての地位を確立させた。メキシコで身に付けた画法で人物や風俗を描き、その作品を二科展に出展した。

それらの作品が多くのの方に愛され、認められたことで、一九三七年二科展の会員に推挙された。

### 恩師を訪ねて



現在の太田輝夫先生

菓子店を営まれ商店の長として使用していた。男は商業高校へ進むことが必然であった。そして小学生時代から静岡の野球部や弓道部、帽子のホワイトラインへの憧れもあった。

静岡生時代、憧れの弓道部へ入部も中学三年の道部から先生に向いて担任から先生に向いて調査部では全国論文コンテスト(静岡市)で賞状を頂いたこと先生と

## 太田輝夫先生の巻

静岡卒の先生として教員生活三十八年。教員となり私立公立立一年勤務後、静岡県立情報処理指導センターで教員などへの情報処理指導七年を経て母校静岡で五年、情報処理科長・電子計算機部の顧問・商業科主任・総務課も務める。その後は静岡県教育委員会の商業指導主事を三年・教頭八年・校長四年を努め退職を迎える。

退職後も大学で高校向け広報や入試面接官を十年、年金機構でセミナー講師を七年努め、昨年七十七歳まで高校生と関わり続けた。人生での仕事の締め括りは母校静岡の校舎で静商生へのセミナー講師の仕事となった。静岡入学は、当時ご両親が和

自由で明るい印象であった。静岡の教員時代、静岡生の印象は、明瞭・自由・のびのび・人懐こい・都会的。創立九〇周年校舎落成記念式典(昭和六十三年)は総務課として準備から携わった。本館新設工事の際は旧体育館を職員室



静岡の教員時代の先生仲間(太田先生=左前列2人目)

人生七十八年、ご自身ではなかなか出来ていなかったと、皆さんには「人との絆を大切に」してほしいと思いを込められた。(筆はな)

### 美術同好会作品展開催

染色家 小川良子氏の作品も特別出品  
母校文化祭に出展!! 感動の輪 広がる



年卒)の染色家小川良子氏の着物等の作品を特別展示しました。又会員の展示作品として、水彩画を中心に、陶芸、写真、手作り人形、帆船模型、能面、版画、拓本等多彩でした。特に拓本については久能山東照宮にある徳川家康の遺訓が

ことでした。なお、作品展は、美術部の卒業生に限りません。静岡卒業生であれば、どなたでも結構です。内容は問いませんが、是非ご参加いただきたく願います。

お問い合わせ先  
静岡美術同好会  
事務局 築地維太郎  
(昭和38年3月卒)  
☎09076860051

◆今回は、北川民次画伯の時代背景や生活環境などを想像しながら作品と対話するようになり、鑑賞することができ、さらに工場の作品を一つ一つも、窯業の盛んな瀬戸市の風景、様子も垣間見ることができた意義深い有用な時間となった。

◆終わりに、瀬戸市美術館、瀬戸信用金庫アートギャラリーで作品を鑑賞できたことで、人と地域が一体となって生活している様子や人間の喜怒哀楽、瀬戸市民の温かさなど新たに発見するとともに、北川民次画伯がこよなく愛した瀬戸市の良さを感じることができた。

第3位 石田康典氏(77回卒) レディース準優勝 増井美恵子氏(80回卒) 尚、参加者全員の寄付として静岡新聞社「愛の都市訪問」に五万円を寄贈しました。

### 第20回同窓会 ゴルフ大会

## 優勝 牧野勝彦氏(第71回卒)

## 準優勝 レディース 芝原辰子氏(第77回卒)



優勝した牧野勝彦氏。



レディース優勝の芝原辰子氏。

組織委員会主催による同窓会ゴルフ大会が十月十八日(水)リバー富士ccで九十一名参加により開催されました。当日は富士山頂にも積雪があり絶景好コンディションの中心プレー出来ました。

表彰式の一般表彰に続いて行われたジャンケン大会では、一回戦・主催者賞五本、二回戦・いなば食品ツナ缶三ヶ、三回戦・待月楼御節(目録)が争奪されました。御節は80回卒増井美恵子氏がゲットしました。

【その他上位者】 準優勝 白石明史氏(76回卒)

※カッコ内は卒回。敬称略順不同。(中)